

令和6年度 実績評価書（学校教育課）

学校教育課長 岩瀬和也

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
・学校への就学・転入学の手続き、児童生徒の保健衛生等に関すること ・学校の教育課程、学習指導、生徒指導、教職員の人事管理等に関すること ・教育に関する各種調査・統計に関すること		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
毛呂山町に住んでいる児童生徒とその保護者の方々のために。 また、学校教育にご支援ご協力をいただいている全ての町民の皆さんのために。		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目 標 名	確かな学力の定着と自立する力の育成	
指 標 名	埼玉県学力・学習状況調査で前年度から学力が伸びた児童生徒の割合（国語）	
数値目標	初期値（平成30年度）	61.8%
	実績値（令和6年度）	63.4%
	最終目標値（令和6年度）	65.0%
設定根拠	第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画	
事業概要	各小中学校における指導方法研究等に「埼玉県学力・学習調査」を活用し、学習指導における質の向上を図ります。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
「埼玉県学力・学習状況調査」は、児童生徒一人ひとりの学力の伸びの把握により、児童生徒の1年間の学習成果に加え、教員の取組の成果を確認することができます。 毛呂山町学力向上対策委員会において、学力向上に効果のあった取組を分析し共有することで、指導内容の工夫や改善を図ることができます。		
5 昨年度の取り組みの反省点及びこれまでの取組の評価は次のとおりでした。		
目標値および県平均を超える学力の伸びがみられた学年もありましたが、全体では目標値に達することができませんでした。国語については、学力の中間層に伸び悩みが見られます。児童生徒の学習への主体的な取組や家庭学習の習慣化、文章を記述する学習の取組等に課題が見られます。 学校教育課では、毎年度、学力向上対策委員会を実施し、町内で学力を伸ばした教員や学校の取り組みを共有し、指導方法の工夫改善を図ることができました。令和5年度からは、特別活動推進のための研究委嘱を行い、学級経営の充実を図ることで学習環境を整えることができました。学力・学習状況調査における実績値には課題がみられるため、文章を記述する指導等町内で共有した指導方法を授業に生かすとともに、A Iドリルを授業や家庭学習で活用し、個々の学習進度や理解度に合った学習に取り組ませ、学習内容の着実な定着を図ります。		

令和6年度 実績評価書（学校教育課）

学校教育課長 岩瀬和也

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
・学校への就学・転入学の手続き、児童生徒の保健衛生等に関すること ・学校の教育課程、学習指導、生徒指導、教職員の人事管理等に関すること ・教育に関する各種調査・統計に関すること		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
毛呂山町に住んでいる児童生徒とその保護者の方々のために。 また、学校教育にご支援ご協力をいただいている全ての町民の皆さんのために。		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目 標 名	確かな学力の定着と自立する力の育成	
指 標 名	埼玉県学力・学習状況調査で前年度から学力が伸びた児童生徒の割合（算数・数学）	
数値目標	初期値（平成30年度）	66.1%
	実績値（令和6年度）	68.2%
	最終目標値（令和6年度）	70.0%
設定根拠	第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画	
事業概要	各小中学校における指導方法研究等に「埼玉県学力・学習調査」を活用し、学習指導における質の向上を図ります。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
「埼玉県学力・学習状況調査」は、児童生徒一人ひとりの学力の伸びの把握により、児童生徒の1年間の学習成果に加え、教員の取組の成果を確認することができます。 毛呂山町学力向上対策委員会において、学力向上に効果のあった取組を分析し共有することで、指導内容の工夫や改善を図ることができます。		
5 昨年度の取り組みの反省点及びこれまでの取組の評価は次のとおりでした。		
全体では、目標値を達成していませんが、ほとんどの学校で県平均を超える学力の伸びがみられました。算数・数学については、児童生徒の学習への主体的な取組や習熟の時間の不足、家庭学習の習慣化、自分の考えを記述する学習の取組等に課題が見られます。 毎年度、学力向上対策委員会を実施し、町内で学力を伸ばした教員や学校の取り組みを共有し、指導方法の工夫改善を図ることができました。令和5年度からは、特別活動推進のための研究委嘱を行い、学級経営の充実を図ることで学習環境を整えることができました。学力・学習状況調査における実績値には課題がみられるため、自分の考えを記述する指導や習熟の時間の確保等、町内で共有した指導方法を授業に生かすとともに、A Iドリルを授業や家庭学習で活用し、個々の学習進度や理解度に合った学習に取り組みせ、学習内容の着実な定着を図ります。		